

日本の夏・むし紀行

夏の虫調べでは、日本各地からさまざまな虫の写真が集まりました。分布の拡大が話題になっている虫、地域性のある虫、比較的少ない虫などの報告も、少なからずありました。みなさんから寄せられた日本各地の虫たちの情報をいくつか紹介します。

[印象に残った虫] ミンミンゼミ



Oncotympana maculaticollis
撮影：山形県 佐藤真一さん

関東では市街地から山麓^{さんろく}まで普通に見られるセミですが、他地域での分布は限られています。山形県から「アブラゼミがほとんどだったため」というコメントとともに、成虫の写真をいただきました。東北では珍しいセミの一種ですので、写真に撮れたのは幸運でしたね。

[印象に残った虫] キマダラカメムシ



Erthesina fullo
撮影：福岡県 田村耕作さん

1770年代に長崎県の出島で見つかったカメムシですが、長い間記録が途絶えていました。近年になって再発見され、九州各地に広がりを見せています。また、本州や四国、沖縄県などでも記録があり、人によって持ち込まれたのではないかと考えられています。今回の調査では福岡県から2枚の写真をいただき、そのうちの1枚は幼虫であることから、確実に発生をしていることがうかがえるものでした。

[印象に残った虫] オオチャイロハナムグリ



Osmoderma opicum
撮影：岩手県 五十嵐亮介さん

山地にすみ、大木のうろ^{うろ}などに見られます。成虫は独特（麝香^{じしこう}）のにおいがするといわれています。自然が豊かなところに見られるコガネムシの仲間ですが、岩手県から2頭も写った写真をいただきました。この虫がすむ自然をいつまでも大切にしたいものです。

[赤いトンボの仲間] ベニトンボ



Trithemis aurora
撮影：鹿児島県 浦元照夫さん

国内では鹿児島県での分布のみでしたが、1980年代に石垣島で記録され、島嶼^{とうしょ}からの報告が次第に増えていきました。1993年には屋久島でも記録され、鹿児島本土～石垣島まで連続して分布するようになりました。調査票でも鹿児島県西之表市（種子島）で写したオスの写真をいただき、分布が定着していることを裏付けるものとなりました。

[クワガタムシの仲間] ヒラタクワガタ



Serrognathus platymelus
撮影：兵庫県 向山和孝さん 撮影：福岡県 河内みどりさん

平地から山麓^{さんろく}の林にすんでいます。なかなか見つからないクワガタムシのひとつです。しかし、近畿以西では人里近くの小さな林でも見かけることがあるといいます。この話のとおり、奈良県や兵庫県などの調査票ではしばしば登場していました。

[アゲハチョウの仲間] ナガサキアゲハ



Papilio memnon
撮影：香川県 田中淳子さん 撮影：滋賀県 西迫尚さん

平地や丘陵地に見られる種で、1930年頃は九州と四国南部に分布が限られていましたが、次第に北へ分布を広げています。現在は太平洋岸を北上し、2000年には静岡県富士市や伊豆半島に達しています。南関東では1999年から記録されていますが、箱根の山々などを一足飛びしたことから、放蝶などによる人為的な広がりも可能性があります。この広がりを反映し、南関東（茅ヶ崎市）や滋賀県（草津市）からも写真をいただきました。